

エファ・シンポジウム
2022



戦争・紛争・大規模災害、 そして復興期において 子どもたちに図書館ができること

日程: 2022年6月11日(土) 15:00~16:30 (開場: 14:45)

場所: JICA地球ひろば、オンライン開催

東京都新宿区市谷本村町10-5 JICA市ヶ谷ビル内

参加費: 無料

後援: 公益社団法人日本図書館協会

戦争・紛争、大規模災害 - 発生時だけではなくその復興期において、本や図書館がどのような役割を担えるのか、障害がある子どもたちを取り残さないためにできることは何かを考えるシンポジウムです。

30年以上続いた戦争の傷跡の残るカンボジア、ラオス、ベトナムで、困難を抱える子どもたちの自立を支える、図書館や本の活動についても紹介します。

お申込み

シンポジウムのウェブサイトにある申し込みフォームよりお申し込みください。オンライン参加者の方には、開催前にZoomのリンクをお送りします。



<https://www.efa-japan.org/post-15972/>

すべての子どもたちが可能性と想像性を発揮し、
自分ものがたりを描ける社会に。



プログラム内容と登壇者

- ・ 地雷が残るカンボジア農村部に暮らす障害児と図書館活動
- ・ 戦争・紛争・大規模災害時、そして復興期における子どもたちと本
- ・ 障害者を取り残さない 情報、図書館の役割
- ・ パネルディスカッション、質疑応答



野口 武悟（のぐち・たけのり）

専修大学文学部教授、放送大学客員教授

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科修了、博士（図書館情報学）。2006年に専修大学に入職し、2014年から現職。これまでに文部科学省子供の読書活動の推進に関する有識者会議委員、（一社）日本子どもの本研究会会長などを務め、現在、（公社）全国学校図書館協議会『学校図書館』編集委員長、（公社）日本図書館協会障害者サービス委員などを務める。子どもの読書、障害者サービス、電子書籍サービスなどについて研究している。



木村 瞳（きむら・ひとみ）

児童文学翻訳・エッセイスト

主な翻訳書として『ザ・ストーリー・オブ・ミュージック』（全6巻）、『音楽の始まり』（全4巻）などがある。「週間図書新聞」に書評を、「こどものくに通信」（鈴木出版）にエッセイを執筆。サンケイ児童出版文化賞推薦賞、国際ソロプチミスト日本財団稲城賞受賞、千嘉代子(国際文化交流の功績)を受賞した。



鎌倉 幸子（かまくら・さちこ）

特定非営利活動法人エファジャパン海外事業担当

国際協力団体職員としてカンボジアに9年間駐在し内戦後の教育復興に従事する。2021年6月にエファジャパンに入職しカンボジア、ラオス、ベトナムの教育・福祉事業の担当を務めている。

お問い合わせ先

特定非営利活動法人エファジャパン

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-2 九段宝生ビル3F

TEL：03-3263-0337 FAX：03-3263-0338

Email：info@efa-japan.org

Web：https://www.efa-japan.org/